

☆放課後子ども教室☆

初夏というにはやや肌寒く、朝晩はストーブのスイッチについつい手を伸ばしてしまう6月のはじまりでした。子どもたちにとっては、学校行事のビッグイベントのひとつである運動会がありましたね。不安定なお天気に振り回されつつも、元気な子どもたちの声が響くグラウンド。様子をのぞきに行ってきましたが、全力で競技に向かい、仲間を応援し、係の仕事にも一生懸命取り組む姿がとてもすがすがしく映りました。放課後の子どもたちとは、また違った表情を見る良い機会となりました。

しばらくの間、お休みとなっていた放課後子ども教室ですが、5月22日(月)より活動が再開となりました。活動再開に際し、遊び方のルールについて、子どもたちにも考えてもらう時間をもうけました。放課後子ども教室は、子どもたち自身が自分の頭と心で考え、スタッフも含めてコミュニケーションをとりながら『みんなで、安全に、楽しく、遊ぶ場』でありたいと考えています。そうした場をつくるために必要なルールを、参加者みんなで確認しました。子どもたちも真剣に私たちスタッフの思いを受け取ってくれたようです。

5月の活動からは新1年生も加わり、全学年そろっての活動が始まりました。最初は緊張しているようでしたが、2～3年生のサポートもあり、参加回数を重ねるごとに元気の度合いが増して、のびのびと過ごしているように感じます。5月と6月前半のプログラムでは、身近にある山菜を天ぷらにしたり、ヨモギ団子にしたり春の恵みをいただく自然探検や、キックベースやユニホックなどチームワークを生かしたスポーツ、自分たちでシャボン液を使ってつくる大きなシャボン玉などのプログラムを行いました。自然探検ではヨモギの見分け方や、外遊びに出るときに気を付けたい動植物（ハチ、毛虫、ウルシ）の注意点を確認。毎年行っている活動なので、昨年の内容を覚えている子が初めて話を聞く子にいろいろと教えてあげる姿も見られました。昨年の活動で好評だったシャボン玉づくりは、今年も大人気でした。自分の顔よりも大きなシャボン玉が空へのぼっていく様子を見て「すごーい！」と歓声が上がります。泡だらけになりながら、たくさんのシャボン玉を上手につくることができました。



5月28日(日)に今年度1回目の放課後特別教室『あつまっ子ふるさと体験教室』を開催しました。あつまっ子ふるさと体験教室では、人・産業・自然・文化など厚真町の地域資源と子どもたちを体験的に結ぶ活動を行っています。今年度最初の活動は田植え体験。約1aほどの水田をお借りし、生産者の方に直接、指導を受けながら田植えに挑戦しました。初めて田んぼに入る子は泥の感覚に慣れるまで苦勞をしていたようです。これまでに田植え体験をしたことのある子は、田んぼの中の移動もスムーズに、即戦力として活躍していました。どうかスクスクと育ち、おいしいお米になりますように、と願うばかりです。

